

ボランティア活動とは

地域でボラ活動をするということ

茅ヶ崎市社会福祉協議会ボランティア大学 2021

市民の活動としてのボランティア活動

公的機関、専門職の活動との違い

専門職・公的责任は

欠乏していること・必要とされること＝課題に向かって
やらなければならないこと
できる可能性のあるところから

市民は

やりたいことを
できるところから
結果として社会的な課題解決に結んでいく

ボランティア活動は、やりたいこと、やりたいところから

さまざまに広がるボラ活動：ボランティア活動の種類

分野で広がり、関わり方で広がり、すべて年代が関わる

(1) 分野で見ると

福祉／教育／医療／環境／災害／国際支援 暮らしのあらゆる部分に…

(2) 関わり方で分けてみると

直接暮らしの困難を担わされている人々への支援

暮らしの困難を除去する活動

ボランティア活動を支援する活動

(3) 年代で見ると

最高齢103歳 看取りボランティア

最も若い あかちゃんボランティア

これってボランティア活動とされますか？

- ☐ 町内会で新聞、アルミ缶、段ボールなど資源回収活動作業に参加する
- ☐ リサイクルに牛乳パック、ペットキャップなどを出す、ゴミの分別回収をする
- ☐ 赤い羽根・年末助け合いに募金をする
- ☐ 赤い羽根共同募金で街頭に立つ
- ☐ 町内会・自治会役員を務める
- ☐ わが子が参加するサッカークラブで遠征に引率を手伝いながら同行する
- ☐ 電車、バスの車中で、席を譲る
- ☐ 交差点で視覚障害の方の横断に手を貸して、一緒に横断
- ☐ 視覚障害の方の外出に同行する
- ☐ 隣家の一人暮らし高齢者におかずのお裾分け
- ☐ 災害被害地・県のアンテナショップで、支援の現地物産を買い物

「親切」とボランティア活動の違いは？

ボランティア活動なのか、ないのか、区別が難しい

- ＊ 曖昧さを持っている

やる側が『ボランティア活動』と思って行えば、それはボランティア活動と言えるのか？

「ボランティア活動を思っ行えばボランティア活動」では、ボランティア活動の押し付け

- ＊ 個人的レベルのものではない性格を帯びている

- ＊ 本人が意識しようが、意識しまいが 結果としてボランティア活動になっていることも

ボランティア volunteer ということば

原語である英語の volunteer の語の原義は志願兵

語源は英語の will の語源ともなったラテン語の volo で
意思や志願を意味した。

自主的に関わる、主体的に関わるということは、
ボランティア活動の核心といわれる

ボランティア元年（1995年）

阪神淡路大震災 120万人とも180万人とも

ボランティア活動の起源 歴史の一端

「『福祉』ボランティア活動」の前史的活動

「日本にはボランティアが育たない」といわれた時代も

仏教慈善事業

聖徳太子・四箇院のなかで

591年四天王寺に施薬院(薬局)、悲田院(困窮者・養老・孤児救済)、療病院(貧民のための病院)

奈良時代：奈良大仏 行基菩薩 高尾山薬王院の開祖

近鉄奈良駅近くの商店街の入口に像が建っている

農民救済 灌漑施設、福田思想

：善行を撒けば、福を生み出す田畑

鎌倉時代：鎌倉極楽寺『忍性』 療病院・悲田院・福田院・癪宿

癪宿 「非人」ハンセン氏病患者救済活動

明治～大正

・賀川豊彦「救霊団」セツルメント：無賃宿泊所、食事提供、子ども預かり

セツルメント活動 隣保活動

若者、学生が大きな担い手

民生委員の前史となる岡山県「済世顧問制度」、大阪府方面委員制度

・失業者への救済活動は、方面委員の自発的な活動であった

・戦後 今日の民生委員制度に

19世紀のイギリス 組織的なボランティア活動 COS運動1869年…

イギリスでは、産業革命が進むなかで1850年以降

COS運動1869年…

キリスト教信者による救済活動や、有識者が貧困者とともに暮らしながら感化・教育活動を行うセツルメント活動が、ボランティア活動へと発展

1970「コミュニティ 生活の場における人間性の回復」…コミュニティ形成にボランティア活動

1985「ボラントピア事業」

1995「ボランティア元年」阪神淡路大震災

2017「我が事・丸ごと」地域づくり…「支え手側」と「受け手側」に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成 = ボランティア活動による地域支援活動

ボランティア活動 4 or 5原則

ボランティア活動といわれる姿に見られる共通項

①自発性・自律性・主体性 「自発性」

「言われてもやらないけれど、言われなくてもやる」

②継続性・組織性

二つの継続性 For からWithへ

相手との関係性 継続性・発展性・社会性

③利他性・公共性・社会性

「人のためだからできるんです」 高校生の言葉

「結局私自身のためになっっているです」多くのボランティアの方から聞く言葉

ボランティア活動を色で表すと、何色になりますか？ と訊ねると・・・

④ 無償性・無給性 ……何でもタダということではない：利益を目的としない

⑤ 先駆性・開拓性 ……社会福祉を始め多くの社会的活動は、ここから始まっている

ボランティア活動「心がけていたいこと」

がんばりすぎにご注意

4羽目の「ホトトギス」

「鳴かずんば 殺してしまえホトトギス」織田信長

「鳴かずんば 鳴かせて見ようホトトギス」豊臣秀吉

「鳴かずんば 鳴くまでまとうホトトギス」徳川家康

4羽目のホトトギスは：松下幸之助 「？」

共感と共鳴 ボランティアマインド

相手に届く言葉、伝わる言葉で伝える

相手の求めているところに支援

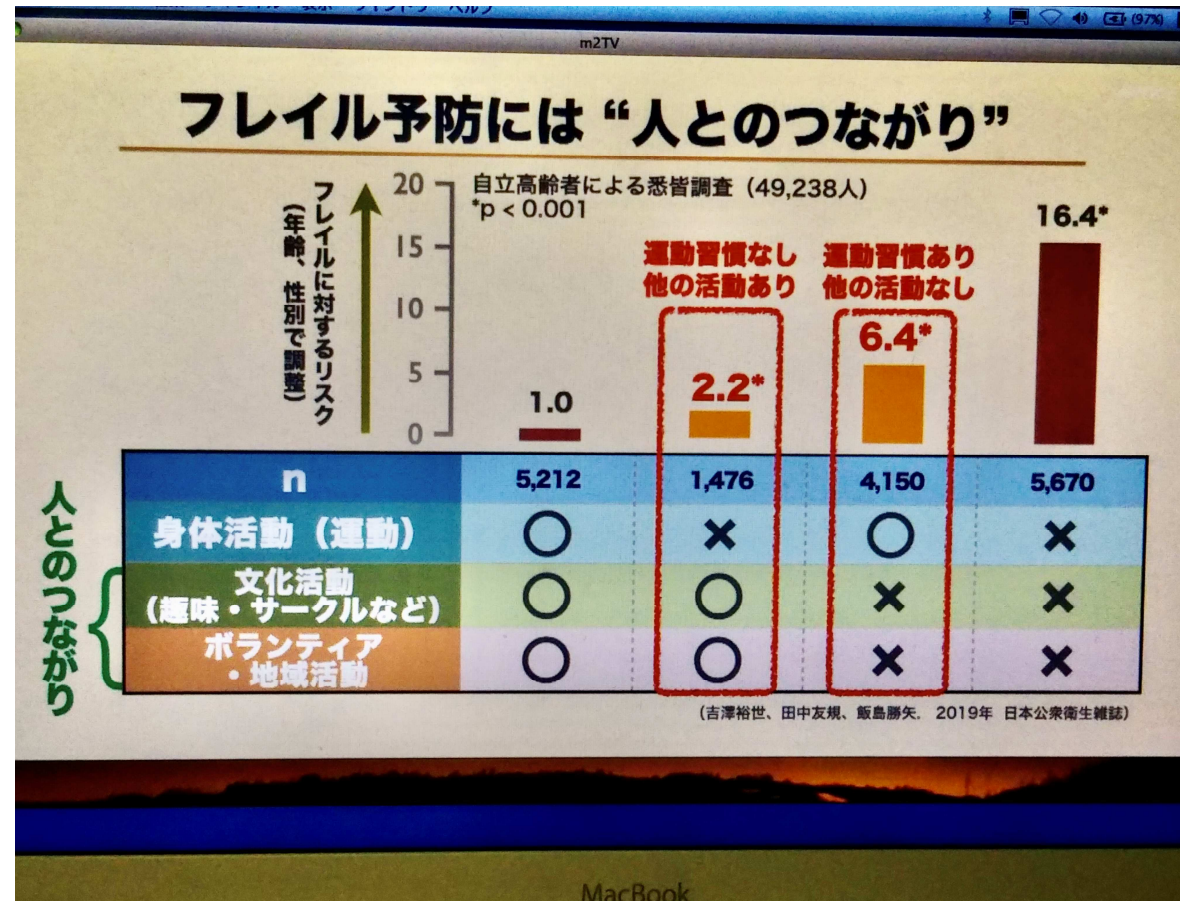
＜おまけ＞ボランティア活動と健康 情けは他人(ひと)のためならず？

米国のハーバード公衆衛生大学の研究＞ ボランティア活動は自身の健康にも良い
週に2時間程度のボランティア活動をする、
早期死のリスクが大幅に低下し、
身体活動も活発になる

研究：50歳以上の米国人1万2,998人を4年間追跡
その結果、年間に100時間以上(週に2時間程度)のボランティア活動をしている人では、
まったく活動に参加していない人に比べ、
早期死亡のリスクは44%低いことが明らかに

活発な身体活動をしている割合も12%高く
将来に身体機能に制限が生じ介護が必要となるリスクが低い傾向

ボランティア活動にストレス軽減の作用がある
ボランティア活動を継続して行っている人は、
絶望や孤独を感じる頻度が低く
主観的健康感が高く、幸福感を得やすい傾向



せっかくするなら楽しくやろう

疲れた時には上手に休憩・お仲間とおしゃべりも大切に

- 「やりたくないが、参加」のリスクは「やりたくない、不参加」のリスクに差はわずか。
- 無理してボランティア活動は、相手にも、お仲間にも、3羽のホトトギスを生じさせる
- ちょっと離れて眺め直す、ボランティアのお仲間とおしゃべりも大切に
- せっかくするなら楽しくできるちょっとの工夫・手間
- ボランティアの「かきくけこ」＝「書く」「聴く」「工夫する」「検討する」「行動する」

